

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2017年5月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2019年4月号

特集

数十年前まで見据えた周産期のケア
尿失禁や骨盤臓器脱から女性を守る
妊娠中や分娩時に骨盤底筋群を損傷することによって、産褥期だけでなく、数十年後に症状が現れてくる場合があります。骨盤底筋群損傷によって引き起こされる症状を解説すると共に、そういった症状を出さないためにできる対策を紹介いたします。



2019年3月号

特集

お悩み解決！
指導者のための実習指導方法
助産学実習生に対する指導に焦点を当て、各施設での具体的な指導方法、フォローの仕方などを紹介します。多くの実習生を指導する工夫や、教育機関(大学)と臨床現場との連携のほか、若手助産師・学生への実習に関するアンケートも掲載しました。



2019年2月号

特集

最新！妊婦への栄養指導

妊婦のやせ志向・栄養不足による児への影響が近年問題視され、これらの解決には栄養指導が重要です。低栄養や栄養に偏りのある妊婦のリスク、推奨増加体重の考え方、栄養指導の実践報告、そして栄養素に関するよくある質問をまとめました。



2019年1月号

特集

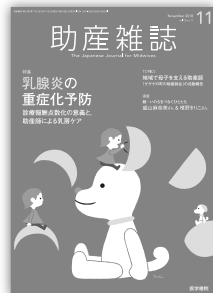
分娩を遷延させないために助産師ができること
正常に進むと思っていた分娩が、思いのほか進まなかったという経験はありませんか？ 妊娠期からの身体づくりによって、分娩遷延を予防する取り組みをまとめました。分娩第2期が遷延する要因と助産師に求められる対応についても解説します。



2018年12月号

特集

習慣化されたケアをエビデンスから検証する
「エビデンスに基づくケア」の大切さが謳われ始め、日頃のケアを見直すことが常識となっています。そこで「臨床の助産師のケアにどう役立てるか」を念頭に置き、普段行われている15のケアについて、科学的根拠の確実性を検証します。



2018年11月号

特集

乳腺炎の重症化予防
診療報酬点数化の意義と、助産師による乳房ケア

2018年度の診療報酬改定において、「乳腺炎重症化予防ケア・指導料」が新設されました。点数化の意義や、施設および地域での実践、乳腺外科医の役割などを解説します。

2018年 特集

- 10月号 病棟助産師よ、地域へ出よう！ 妊娠中から産後まで、継続して母子を支える
- 9月号 早産と助産師のケア
- 8月号 「院内助産ガイドライン2018」院内助産の拡大を目指して
- 7月号 ①助産師出向システムの今／②助産師が寄り添う更年期
- 6月号 助産師が行なう産後ケア 自立を支援する視点から
- 5月号 暴力被害から女性を救う 助産師が担う大きな役割
- 4月号 産科混合病棟の中で助産師にできること